



10/26 Sea&Rainbow We are shimoda kids

まどが浜海遊公園に子どもたちの文化・芸術・スポーツ団体が集まり、発表・体験イベントが開催されました。会場では飲食コーナー等も用意され、芝生広場にテークろぎながら、多くの市民でにぎわいました。



11/15 伊豆縦貫道50文字作文 表彰式

伊豆縦貫道への期待や一部区間開通による変化、思いを50文字の作文として募集し、入賞作品の表彰式を開催しました。130作品を超える応募があり、伊豆縦貫道の注目度や期待が大きく表れた結果となりました。



11/21 交通安全功労者等表彰

静岡県交通安全協会下田地区支部下田分会は、静岡県交通安全対策協議会会長表彰を受賞し、市長へ報告を行いました。当会は永年にわたり交通安全の広報・啓発活動を実施しており、交通事故防止に大きく貢献されています。



11/ 5 サーフィン日本代表選手による講演会

パリ五輪サーフィン日本代表のコーナー・オレアリー選手と日本代表コーチ大野修聖氏おののしゅせいが下田中学校と下田市役所河内庁舎にて講演会を行いました。オリンピックの話や夢の実現についてご講演いただきました。



11/ 9・15 市内消防団消火演習

秋の全国火災予防運動に合わせ、市内各消防団で消火演習が行われました。空気の乾燥や暖房器具の使用より火災が発生しやすい時季になりますので、火の元には十分ご注意ください。



11/22 下田市選手団結団式

11月30日開催の第25回静岡県市町対抗駅伝競走大会に向け、下田市選手団の結団式を行いました。選手・監督・スタッフが一丸となり、チームの思いをのせたタスキを繋いでゴールを目指します。

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



11月の予定

- 4日(土) 開放開始・開館日
- 8日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 9日(木) こま作り
- 10日(金) こま作り
- 14日(火) 交通安全教室
- 15日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 17日(金) わくわくタイム
- 18日(土) 開館日
- 20日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所：市民スポーツセンター
- 22日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
- 27日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 29日(水) 誕生会 10時30分～
- 30日(木) 鬼のでんでん太鼓製作
- 31日(金) 鬼のでんでん太鼓製作

※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



ハロウィン製作



うさぎルーム

赤や黄色で彩られていた木々の葉もいつの間にか散り、今年もあとひと月となりました。クリスマスにお正月休みと、楽しみがいっぱいの12月です。今年の冬は十分な睡眠と栄養を心がけ、家族みんなが元気に楽しく過ごせるといいですね。
また、寒いとつい厚着をさせてしまいがちですが、暖房で暖まっている室内では上着での温度調節を心がけましょう。自分で体温調節ができない乳児には、大人の気遣いが大切です。



ベビーリトミック



誕生会

こんにちは、教育長です
「わなな」

井上靖の自伝的長編小説「しろばんば」に、洪作少年たちが作った毘にヒヨドリ(野鳥)がかかり、亡骸の始末をめくり少女あき子たちを悲しませるといふシーンがあります。「バタン、キュー」と表現しているように、まさにギロチンのような毘で、その構造までは描かれていません。小説の舞台、伊豆市湯ヶ島の呼び名は分かりませんが、下田のお年寄りはその毘を「ばんば」と呼んでいたようです。実はこの「ばんば」の作り方を知っているお年寄りが近所にいて、教えていただいたことがありました。私が教師になって間もない頃でした。中学校国語の教科書に掲載されていたので、その当時この毘が一体どんなものなのか気になっていたところ、たまたまそのお年寄りに出会ったのです。山に入り二時間ほどかけて作って見せてくださいました。構造があまりにも複雑で、描いても話しても説明が困難なほどです。放課後、私は生徒たちを中学校の裏山に連れて行き、その毘を再現しました。部活動後毎日観察していましたが、風雨に晒され一週

間ほどで潰れました。どうやら小鳥が一羽かかったようでしたが、姿はありませんでした。生徒が毘に挟まっていた青と白の縞模様風切羽を図鑑で調べると、「カケス」だと分かりました。私は、物語の一場面を再現したい、体験させたい一心で作ったのですが、今では動物虐待にあたるのでしょうか。この文章を書くのにも少し躊躇してしまいましたが、毘を作ったり、仕掛けを作ったりする中で生き物の生態、自然の営みや不思議を知り体感することは今の時代だからこそ子どもたちに味わせたいと思います。

「文部科学省が二万人以上を追跡調査したデータを分析したところ、小学生の頃に自然体験や読書、お手伝いなどを多くした子どもは、高校生の時に自尊心や外向性などが高いことが分かった」とは、ある新聞のコラムです。稲穂小の子どもたちは夏休み明け、地の川でウナギのもじり体験をしました。「体験格差」という言葉が聞かれる昨今ですが、下田の子どもたちが、地域の皆さんによって多くの体験をさせてい

- 11月のできごと
- 2日 下田をきれいにする日
- 2日 耐震改修促進シンポジウム
- 9-10日 Sea 級グルメ全国大会 in 境港
- 16-17日 全国路地サミット in 伊豆下田
- 19日 VR 認知症体験講座
- 23日 ポッチャ大会